取組番号②

学校教育 目標	共に生き、共に学び、共に汗する心豊かな荏っ子の育成	
育成を目指す 資質・能力	○知識・技能の習得 ○言語能力(表現力・コミュニケーション能力)	

	学力状況について	学習状況について
	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題
児童 生徒 の	(5年生)国語の活用の項目では、県平均よりも2.0%下回っている。 (5年生)算数の知識の項目では、県平均よりも0.9%下回っている。 (6年生)国語の思考力・判断力・表現力等のA「話すこと・聞	・「自分の考えを発表することができる」項目に肯定的な回答をした児童は、5年生→64% 6年生→63% と90%に届いていない。 ・「自分の考えをもつ(書く)ことができる」項目に肯定的な回
課題		

・自分の考えや意見を持つことができる児童が増えつつあるが、自分の考えを積極的に述べることは苦手とする児童が多い。

#### 1 組織的な授業改善の取組状況

- ①授業研か互見授業を学期に1回以上授業を行った教員を100%にする。
- ・1学期末教職員アンケート100%・・・達成できた
- ②「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を板書に位置付けた授業を行った教員を100%にする。
- ・1学期末教職員アンケート「当てはまる」「だいたい当てはまる」69%・・・達成できていない ※「めあて」等のカードを意識して活用できるよう呼びかける。
- ③「自分の考えをもったり書いたりすることができた」と回答した児童の割合を90%以上にする。

#### 指導 മ 状況

- ・1学期末児童アンケート「当てはまる」「だいたい当てはまる」90%・・・達成できた ④「授業中に自分の考えを発表できた」と回答した児童の割合を80%以上にする。
- ・1学期末児童アンケート「当てはまる」「だいたい当てはまる」72%・・・達成できていない
- ※発表する児童に偏りがある。できたことを認めたり発表する場の工夫を行ったりして自尊感情を高めていく。

#### 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況

- ①家庭学習の習慣化を図り、「宿題を忘れずにすることができた」が「当てはまる」児童の割合70%以上にする。
- ・1学期末児童アンケート「当てはまる」53%→達成できなかった
- ※「あまり当てはまらない」「当てはまらない」児童の割合が9%→家庭と連携を密にして家庭学習を習慣化していく。

# 学力に関する達成指標

- 単元テストの正答率60%未満の児童の割合を15%以下にする。
- ・自分の考えを発表することができる児童の割合を80%以上にする。

## 【授業改善】

# 〈授業改善のテーマ・重点〉

相手に分かるように伝えることができる子どもの育成

## 〈取組内容〉

- ①課題に対して自分なりの考えをもち、友だちと意見を交わし合える授業づくり に取り組む
- ②話し方・聞き方のモデルを作成し、授業の中で進んで友だちに伝え合えるよう な授業づくりに取り組む。
- ③学習過程スタンダードを活用し、1時間の学びの流れが分かる授業に取り組

# 〈取組指標〉

#### ①児童の見通しから課題設定を行い、これから何について学んでいくのかを 明確に提示したり、課題設定の前に児童に解決の見通しをもたせる場を設定 したりする。

②「めあて・課題・まとめ・振り返り」を授業の中で位置付け、1時間の学びを 実感できたり次の学びにつなげたりする。

# 〈検証指標〉

*゚*ンケートにおいて

①「1日1回以上、授業の中に効果的なペア・グループ活動を仕組むことがで きた」が「当てはまる」「だいたい当てはまる」教職員の割合が90%以上。 ②「自分の考えを持つ(書く)ことができる」が「当てはまる」「だいたい当ては まる」児童の割合が全学年90%以上。

# 〈家庭・地域の取組指標〉

【家庭・地域との協働】

〈家庭・地域の取組内容〉

○「荏隈小学校学習の約束」に

沿って、学習習慣を定着させる。

束をする。

○生活リズムについて、家庭で約

- ○声かけや励ましを行い、家庭学 習の時間を確保する。
- ○学校からの配布物やメールでの お知らせに必ず目を通し、学校公 開日などには積極的に参加する。

#### 〈家庭・地域の検証指標〉

- ○保護者による学校評価アンケートにおい 「家庭学習に取り組むことができている」の 肯定的な回答が80%以上。
- ○保護者による学校評価アンケートにおい 「規則的な生活ができている」の肯定的な 回答が80%以上。

#### 【授業改善以外の学力向上の取組】

- ① 読書指導・・・週1回以上学校図書館の利用を促したり、それぞれの学年の読書数を達成できるよう声かけをしたり する。
- 2 発表指導・・・全校全員発表を目指して「発表頑張り週間」を設ける。
- 補充指導・・・単元末テストのやり直しを丁寧に行い、基礎・基本の確実な定着を図る。

### 今後の 具体的 な取組